



証券コード 3055
2023年6月13日
電子提供措置開始日
2023年6月7日

株主の皆様へ

札幌市中央区北6条西16丁目1番地5
株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
代表取締役社長 眞鍋雅信

第17回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第17回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申しあげます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申しあげます。

■当社ウェブサイト

<https://www.hokutake.co.jp/>

(上記ウェブサイトアクセスいただき、メニューより「IR情報」「株主総会」「株主総会資料」の順に選択して、ご確認ください。)



■株主総会資料 掲載ウェブサイト

<https://d.sokai.jp/3055/teiji/>



■札幌証券取引所ウェブサイト

<https://www.sse.or.jp/listing/list>



(上記ウェブサイトアクセスいただき、「上場会社一覧」から「卸売業」「株式会社ほくやく・竹山ホールディングス」の順に選択し、「提出書類一覧」の中から「株主総会招集通知等」をクリックしてご確認ください。)

なお、当日ご出席されない方は、インターネットまたは書面（郵送）によって議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、2023年6月27日（火曜日）午後5時30分までに議決権を行使してくださいませようお願い申し上げます。

【インターネットによる議決権行使の場合】

当社指定の議決権行使ウェブサイトへアクセスしていただき、本招集通知と合わせてお送りする議決権行使書用紙に表示された「ログインID」および「仮パスワード」をご利用のうえ、画面の案内にしたがって、議案に対する賛否を上記の行使期間までにご入力ください。

インターネットによる議決権行使に際しましては、5頁の「議決権行使についてのご案内」および6頁の「インターネットによる議決権行使について」をご確認くださいませようお願い申し上げます。

【書面(郵送)による議決権行使の場合】

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、上記の行使期間までに到着するようご返送ください。

書面による議決権行使に際しましては、5頁の「議決権行使についてのご案内」をご確認くださいませようお願い申し上げます。

※株主総会にご出席の株主様へのお土産は取り止めさせていただいております。何卒ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

敬具

記

1. 日 時 2023年6月28日(水曜日)午前10時(受付開始 午前9時)
2. 場 所 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5
ほくたけビル 9階 会議室
(末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。)

3. 目的事項 報告事項

1. 第17期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第17期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

決議事項

- 第1号議案 取締役8名選任の件
- 第2号議案 会計監査人選任の件

4. 招集にあたっての決定事項(議決権行使についてのご案内)

- (1)書面により議決権を行使された場合の議決権行使において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。
- (2)インターネットにより複数回、議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。
- (3)インターネットと書面(郵送)により重複して議決権を行使された場合は、到着日時を問わず、インターネットによる議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。

(4)代理人により議決権行使される場合は、議決権を有する他の株主の方1名を代理人として株主総会にご出席いただけます。ただし、代理権を証明する書面のご提出が必要となります。

以 上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎電子提供措置事項に修正が生じた場合には、1頁に記載の電子提供措置をとっている各ウェブサイトにおいて、その旨、修正前および修正後の事項を掲載いたします。

◎書面交付請求をいただいた株主様には、電子提供措置事項を記載した書面を合わせてお送りいたしますが、当該書面は、法令および当社定款第15条の規定に基づき、次に掲げる事項を除いております。

- ① 事業報告の「企業集団の業務の適正を確保するための体制」「内部統制システムの運用状況の概要」「会社の支配に関する基本方針」「剰余金の配当等の決定に関する基本方針」
- ② 連結計算書類の「連結注記表」
- ③ 計算書類の「個別注記表」

したがって、当該書面に記載している事業報告、連結計算書類および計算書類は、会計監査人が会計監査報告を、監査役が監査報告を作成するに際して監査をした対象書類の一部であります。

[株主総会に関するお問い合わせ先]

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス  
オペレーション本部 総務部

電話 011-611-1019 (山口、加藤)

# 議決権行使についてのご案内

議決権は、以下の3つの方法により行使いただくことができます。

## 株主総会にご出席される場合

---



議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

**日時** 2023年6月28日(水曜日) 午前10時 (受付開始：午前9時)

## インターネットで議決権を行使される場合

---



パソコン又はスマートフォンから議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) にアクセスし、議決権行使書用紙に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」をご入力いただき、画面の案内にしたがって賛否をご入力ください。(詳細は次頁をご覧ください。)

**行使期限** 2023年6月27日(火曜日) 午後5時30分入力完了分まで

## 書面(郵送)で議決権を行使される場合

---



議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

**行使期限** 2023年6月27日(火曜日) 午後5時30分到着分まで

書面(郵送)により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。

# インターネットによる議決権行使について

議決権行使ウェブサイト <https://evote.tr.mufg.jp/>



① 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。



② 議決権行使書用紙に記載された「ログインID・仮パスワード」を入力しクリックしてください。

「ログインID・仮パスワード」を入力

「ログイン」をクリック



③ 新しいパスワードを登録する。

「新しいパスワード」を入力

「送信」をクリック

※操作画面はイメージです。

以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

- ※ 午前2時から午前5時までは、議決権行使サイトの保守・点検のため接続いただくことができません。
- ※ インターネットのご利用環境、ご加入のサービスやご使用の機種によっては、議決権行使サイトが利用できない場合があります。
- ※ 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生するインターネット接続料、通信費等は株主さまのご負担となります。

システム等に関する  
お問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（ヘルプデスク）

フリーダイヤル **0120-173-027**（9:00～21:00、通話料無料）

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 取締役8名選任の件

本総会終結の時をもって取締役全員（7名）が任期満了となります。

つきましては、取締役8名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりです。

略歴等は8ページから12ページをご参照ください。

| 候補者番号 | 氏名   | 現在の当社における地位、担当 |       |
|-------|------|----------------|-------|
| 1     | 眞鍋雅昭 | 代表取締役会長        | 再任    |
| 2     | 眞鍋雅信 | 代表取締役社長        | 再任    |
| 3     | 黒田啓文 | 取締役            | 再任    |
| 4     | 竹山茂樹 | 取締役            | 再任    |
| 5     | 小林隆聖 | 取締役            | 再任    |
| 6     | 親松和史 | 執行役員           | 新任    |
| 7     | 石丸清文 |                | 新任 社外 |
| 8     | 赤尾洋昭 |                | 新任 社外 |

| 候補者番号                                                                                                                                                                                                         | 氏名<br>(生年月日)                                                                                                            | 略歴、当社における地位、担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 所有する当社の株式数 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1                                                                                                                                                                                                             | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br>まなべまさあき<br>眞鍋雅昭<br>(1942年11月27日) | 1965年4月 株式会社一の眞鍋五郎薬局（現(株)ほくやく）入社<br>1991年4月 株式会社バレオ（現(株)ほくやく）代表取締役社長<br>2003年6月 同社 代表取締役社長執行役員<br>2006年9月 当社 代表取締役社長<br>2009年6月 株式会社竹山 取締役会長<br>2012年6月 株式会社ほくやく 代表取締役会長（現任）<br>2018年6月 当社 代表取締役会長（現任）<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社ほくやく 代表取締役会長                                                                                                                                                                                                    | 329,468株   |
| (取締役候補者とした理由)<br>2006年9月当社設立より代表取締役として当社グループの経営に携わるなど、経営全般に対する豊富な知識と経験を有しております。2018年6月からは代表取締役会長に就任し、取締役および執行役員の業務執行を適切に監督しております。今後も当社グループの企業価値向上に資する取締役として適任であると判断し、引き続き取締役候補者といたしました。                       |                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |            |
| 2                                                                                                                                                                                                             | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br>まなべまさのぶ<br>眞鍋雅信<br>(1966年12月21日) | 1989年8月 眞鍋薬品株式会社（現(株)ほくやく）入社<br>2003年6月 株式会社ほくやく 取締役執行役員<br>2004年10月 同社 取締役常務執行役員医薬営業本部長<br>2005年6月 同社 取締役専務執行役員医薬営業本部長<br>2009年6月 当社 代表取締役専務執行役員事業戦略管掌<br>2009年6月 株式会社ほくやく 代表取締役副社長執行役員<br>2012年6月 同社 代表取締役社長執行役員<br>2014年6月 当社 代表取締役副社長執行役員医薬事業管掌<br>2015年6月 当社 代表取締役副社長医薬事業管掌<br>2015年6月 株式会社ほくやく 代表取締役社長（現任）<br>2018年6月 当社 代表取締役社長（現任）<br>2022年6月 株式会社竹山 取締役会長(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社ほくやく 代表取締役社長<br>株式会社竹山 取締役会長<br>株式会社葦の会 代表取締役社長 | 23,920株    |
| (取締役候補者とした理由)<br>2012年6月より当社グループの中核事業である医薬品卸売事業の子会社(株)ほくやくの代表取締役社長に就任、2018年6月からは当社代表取締役社長として、当社グループの業績向上に取り組んでおります。長年にわたり医薬事業をはじめとした医療業界に関する深い知見を有しており、今後も当社グループの企業価値向上に資する取締役として適任であると判断し、引き続き取締役候補者といたしました。 |                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |            |

| 候補者番号                                                                                                                                                                                                                    | 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                               | 略歴、当社における地位、担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 所有する当社の株式数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 3                                                                                                                                                                                                                        | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br><small>くろ だ ひろ ふみ</small><br>黒田 啓文<br>(1951年3月15日)  | 1973年4月 北海道厚生農業協同組合連合会 入会<br>2008年6月 同会 常務理事<br>2014年7月 当社 顧問<br>2014年10月 当社 執行役員<br>2015年6月 当社 常務取締役事業間連携管掌<br>2016年7月 当社 常務取締役事業間連携管掌兼調剤薬局事業管掌<br>2018年6月 当社 取締役(現任)                                                                                                                                                                                                                                | 4,100株     |
| (取締役候補者とした理由)<br>長年にわたり北海道厚生連の医療部門において北海道の医療の発展に貢献し、2015年6月より当社取締役として当社グループの業績向上に取り組んでおります。2018年6月からは取締役および執行役員の業務執行を適切に監督しており、今後もその豊富な知識と経験を活かし、当社グループの企業価値向上に資する取締役として適任であると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。                      |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |
| 4                                                                                                                                                                                                                        | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br><small>たけ やま しげ き</small><br>竹山 茂樹<br>(1965年10月16日) | 1991年3月 株式会社竹山 入社<br>1995年3月 同社 取締役<br>2006年6月 同社 取締役 副社長執行役員<br>2006年9月 当社 取締役 経営戦略部長<br>2007年6月 当社 取締役執行役員 経営管理本部 経営企画室長<br>2008年6月 株式会社竹山 代表取締役(現任)<br>2008年7月 当社 取締役執行役員 経営管理統括本部 部長<br>2012年7月 当社 取締役執行役員 SPD事業本部長<br>2015年6月 当社 取締役執行役員 経営企画部 社長室長<br>2016年6月 当社 取締役 常務執行役員 (ICT事業管掌)<br>株式会社アドウィック 代表取締役社長(現任)<br>2018年6月 当社 常務執行役員 (ICT事業管掌) (現任)<br>2021年6月 当社 取締役(現任)<br>株式会社ノバメディカル取締役(現任) | 370,232株   |
| (重要な兼職の状況)<br>株式会社竹山 代表取締役<br>株式会社アドウィック 代表取締役社長                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |
| (取締役候補者とした理由)<br>長年にわたり医療機器卸売事業の業務に携わり、2008年6月より当社グループの医療機器卸売事業の子会社(株)竹山の代表取締役に就任、2016年6月からは当社グループのICT事業の子会社(株)アドウィックの代表取締役社長として、当社グループの業績向上に取り組んでおります。その豊富な知識と経験を活かし、当社グループの企業価値向上に資する取締役として適任であると判断し、引き続き取締役候補者いたしました。 |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                                                    | 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                          | 略歴、当社における地位、担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する当社<br>の株式数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 5                                                                                                                                                                                            | <div data-bbox="273 371 344 405" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再任</div><br><small>こ ぼやし たか きよ</small><br>小林 隆 聖<br>(1961年9月6日) | 1984年 4 月 オリエントリース株式会社 入社<br>1987年 7 月 シティコープ・ヴィッカーズ証券 東京支店<br>債券本部アシスタントマネージャー<br>1989年 5 月 ゴールドマン・サックス証券 東京支店 金融<br>戦略部 主席調査役<br>1992年 1 月 日本エー・エル・エム株式会社 代表取締役社長<br>1993年 5 月 北都リース株式会社 代表取締役社長<br>2001年 6 月 日本エー・エル・エム株式会社 代表取締役社長<br>2012年10月 当社 入社<br>2013年 1 月 当社 経営企画部 担当部長<br>2013年 5 月 株式会社モルス 代表取締役社長 (現任)<br>2015年 6 月 当社 執行役員 経営企画部長<br>2019年 7 月 当社 常務執行役員 (経営戦略担当) (現任)<br>2021年 6 月 当社 取締役 (現任)<br>.....<br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社モルス 代表取締役社長 | 700株           |
| (取締役候補者とした理由)<br>外資系証券会社での勤務や経営コンサルタント会社の経営など、経営全般にわたる豊富な知識と経験を有し、2012年10月より当社に入社、2015年6月から当社執行役員として、当社グループの業績向上に取り組んでおります。これまで培った経験を活かし、当社グループの企業価値向上に資する取締役として適任であると判断し、引き続き取締役候補者といたしました。 |                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |

| 候補者番号                                                                                                                                                 | 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                         | 略歴、当社における地位、担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する当社の株式数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 6                                                                                                                                                     | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新任</div><br>おやまつ かず し<br>親 松 和 史<br>(1963年8月20日)                                                                                                          | 1988年4月 株式会社 北海道銀行入行 清田支店勤務<br>1992年4月 同社 滝川支店<br>1994年10月 同社 人事部<br>2000年10月 同社 行啓通支店長代理<br>2003年10月 同社 東京事務所長代理<br>2005年4月 同社 東京事務所次長<br>2007年7月 同社 人事総務部次長<br>2011年4月 同社 川沿支店長<br>2013年7月 同社 網走支店長<br>2016年6月 同社 人事部長<br>2018年9月 同社 理事 人事部長<br>2021年7月 当社 オペレーション本部 次長(北海道銀行より出向)<br>2022年3月 当社 執行役員 オペレーション本部 副本部長(管理統括)(現任) | -株         |
| (取締役候補者とした理由)<br>長年にわたる金融機関勤務後、当社管理業務の統括を担っております。金融機関における経験から人事及び会計・財務に関する相当な知識を有しており、当社の管理業務全体を担える人材であると判断するとともに持続的な企業価値向上に必要な人材であると考え、取締役候補者いたしました。 |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |
| 7                                                                                                                                                     | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">社外</div><br>いし まる きよ ふみ<br>石 丸 清 文<br>(1957年8月20日) | 1980年4月 コンピューターサービス株式会社(現SCSK株式会社)入社<br>1998年1月 CSK北海道システム株式会社(現SCSK北海道株式会社) 入社<br>2004年6月 株式会社北海道CSK(現SCSK北海道株式会社)取締役<br>2007年4月 同社 取締役常務執行役員<br>2012年4月 同社 代表取締役社長<br>2022年4月 SCSK北海道株式会社代表取締役会長                                                                                                                               | -株         |
| (社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要)<br>SCSK北海道(株)の元代表取締役会長職の経験を活かし、当社の経営課題の一つであるデジタル・トランスフォーメーションを組織運営にどのように適用すべきかについて、適切な助言をいただけるものと期待し社外取締役候補者いたしました。      |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                        | 略歴、当社における地位、担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                       | 所有する当社の株式数 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 8     | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社外</div> </div> あか お ひろ あき<br>赤 尾 洋 昭<br>(1976年10月27日) | 1999年4月 マツダ株式会社 入社<br>2004年5月 株式会社セイコーマート(現 株式会社セコマ) 入社<br>2006年3月 同社 取締役<br>2009年2月 同社 常務取締役<br>2014年2月 同社 専務取締役<br>2016年2月 同社 代表取締役副社長<br>2020年4月 同社 代表取締役社長(現任) | -株         |
|       | (社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要)<br>道内最大規模のコンビニチェーンを展開されている(株)セコマの代表取締役社長として培われた経験から、小売業運営とチェーンオペレーションやマーケティングの知識の利活用について有益な助言をいただけるものと期待し、社外取締役候補者としていたしました。                                                                           |                                                                                                                                                                    |            |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 取締役候補者眞鍋雅昭氏は株式会社はくやくの代表取締役会長を兼任しておりますが、同社は当社100%出資の子会社であるため、特別の利害関係はありません。
3. 取締役候補者眞鍋雅信氏は株式会社はくやくの代表取締役社長および株式会社竹山の取締役会長を兼任しておりますが、両社は当社100%出資の子会社であるため、特別の利害関係はありません。
4. 親松和史氏は新任の取締役候補者であります。
5. 石丸清文氏および赤尾洋昭氏は、新任の社外取締役候補者であり、両氏が選任された場合には独立役員として届け出る予定であります。
6. 社外取締役候補者に関する特記事項は以下のとおりであります。
- (1) 社外取締役の候補者の独立性について
- ① 社外取締役候補者は、いずれも過去10年間に当社または当社の特定関係事業者(会社法施行規則第2条第3項第19条の定義によります。以下同じ。)の業務執行者(同規則同条同項第6号の定義によります。)となったことはありません。
  - ② 社外取締役候補者は、いずれも当社または当社の特定関係事業者から多額の金銭その他財産(取締役としての報酬を除く。)を受ける予定はなく、また過去2年間に受けていたこともありません。
  - ③ 社外取締役候補者は、いずれも当社のまたは当社の特定関係事業者の業務執行者と三親等以内の親族関係はありません。
- (2) 石丸清文氏および赤尾洋昭氏の選任が承認された場合、当社は両氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。その契約概要は次のとおりであります。
- ① 社外取締役が任務を怠ったことによって当社に損害賠償責任を負う場合は、会社法第425条第1項に規定する最低責任限度額を限度として、その責任を負う。
  - ② 上記の責任限定が認められるのは、当該社外取締役が責任の原因となった職務の遂行について善意かつ重大な過失がないときに限るものとする。

- (3) 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、被保険者は会社の役員等の地位に基づき行った行為(不作為も含みます)に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や訴訟費用等を当該保険契約により補填することとしております。候補者は当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

## 第2号議案 会計監査人選任の件

当社の会計監査人であるEY新日本有限責任監査法人は、本総会終結の時をもって任期満了により退任されますので、新たに会計監査人の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の決定に基づいております。

また、監査役会が有限責任 あずさ監査法人を会計監査人の候補者とした理由は、現会計監査人が長年にわたって監査を継続していることから、新しい会計監査人の起用により新たな視点での監査を期待するとともに、当社グループの会計ガバナンスをさらに向上させるべく、専門性、品質管理体制、独立性等を総合的に勘案した結果、当社の会計監査人として適任と判断したものであります。

会計監査人候補者は、次のとおりであります。

※2023年3月末現在

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名 称         | 有限責任 あずさ監査法人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 主たる事務所の所在場所 | 東京都新宿区津久戸町1番2号 あずさセンタービル<br>(札幌事務所)札幌市中央区北3条西2丁目2番地1 NX札幌ビル11階                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 概 要         | <p>設立年月日 2004年1月</p> <p>資本金 1,138百万円</p> <p>社員等の数 6,495名</p> <p>(内訳) 公認会計士：2,958名<br/>公認会計士試験合格者等：1,177名<br/>監査補助職員：1,634名<br/>その他職員：726名</p> <p>監査証明業務 3,472社 (KPMGジャパンHPより)</p>                                                                                                                                              |
| 沿 革         | <p>1969年 7月 監査法人朝日会計社 設立</p> <p>1985年 7月 監査法人朝日会計社と新和監査法人が合併し、監査法人朝日新和会計社 設立</p> <p>1993年 10月 監査法人朝日新和会計社と井上斎藤英和監査法人が合併し、朝日監査法人 発足</p> <p>2003年 2月 KPMGジャパンの監査部門があずさ監査法人を設立</p> <p>2003年 4月 朝日監査法人がKPMGのメンバーファームに加入</p> <p>2004年 1月 朝日監査法人とあずさ監査法人が合併し、法人名をあずさ監査法人として発足</p> <p>2010年 7月 有限責任監査法人に移行し、法人名を「有限責任 あずさ監査法人」に変更</p> |

以 上

# 事業報告

(2022年4月1日から  
2023年3月31日まで)

## 1. 企業集団の現況

### (1) 事業の状況

#### ①事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに対する行動制限が緩和され、経済活動持ち直しの動きも見られました。しかし、不安定な国際情勢、原材料価格やエネルギーコストの高騰による消費の冷え込み懸念から、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループでは、新薬や大型医療機器と介護分野でのロボット製品など各ヘルスケア分野での販売が堅調に推移いたしました。

介護事業の株式会社モルスでは、利用者様の様々なニーズに対応するため、2023年3月に当グループでは初となる、看護小規模多機能型居宅介護事業所と訪問看護を併設したサービス付き高齢者向け住宅「ふれあいの森南12条館」を開設いたしました。今後も、利用者様の利便性や付加価値の向上に努めてまいります。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は2,619億79百万円（前期比5.5%増）、営業利益は26億28百万円（同23.3%増）、経常利益は38億87百万円（同13.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は27億29百万円（同2.7%減）となりました。

## ②セグメントの状況

### 医薬品卸売事業

医薬品卸売事業におきましては、2022年4月に診療報酬改定ならびに薬価引き下げが実施されました。新型コロナウイルス感染拡大防止による営業活動の制限は現在も続いております。また、長期収載品の売上減少に加え、後発医薬品における供給面での混乱が現在も継続している状況です。このような厳しい環境ではありますが、新型コロナ治療薬と検査試薬の売上が増加したことと、抗がん剤など新薬の販売にも積極的に取り組んだ結果、売上全体では前年を上回る結果となりました。また、利益については、品目ごとのきめ細かい価格管理に取り組んだ結果、売上増加の影響もあり増益となりました。

その結果、売上高は1,866億24百万円（前期比5.3%増）、営業利益は9億61百万円（同65.2%増）となりました。

### 医療機器卸売事業

医療機器卸売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響も残るなか、4月の診療報酬改定による償還価格の引き下げもありましたが、新築移転案件を含む大型機器および、新型コロナ補正予算等による感染症関連機器の前年を超える需要もあり、売上ににつきましては前年を上回る結果となりました。利益面につきましては消耗品ならびに備品関連の売上増加に伴い増益となりました。

その結果、売上高は664億4百万円（前期比6.6%増）、営業利益は15億71百万円（同27.6%増）となりました。

### 薬局事業

薬局事業におきましては、2022年10月に薬局事業主要4社が統合し道内50店舗を超える新体制としてスタートいたしました。新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着く傾向にあり処方箋枚数は前年対比で1.7%増加しました。2022年4月の薬価引き下げにより処方箋単価が低下したために売上はほぼ横ばいとなりました。利益については、統合に伴う一般管理費等の増加もあり、前年度を下回りました。

その結果、売上高は134億80百万円(前期比1.6%減)、営業利益は0百万円(同99.5%減)となりました。

## 介護事業

介護事業におきましては、福祉用具のレンタル・販売および住宅改修と介護ロボットの普及推進における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上・利益ともに安定的に推移しました。サービス付き高齢者向け住宅の部門におきましては、新型コロナウイルス感染症対策として入館規制や手指消毒などを徹底しており、入居者数は安定し訪問介護・看護部門での売上も順調に推移しました。

その結果、売上高は40億55百万円（前期比6.0%増）、営業利益は3億35百万円（同3.5%減）となりました。

## ICT事業

ICT事業におきましては、世界的な物価高による製品価格の高騰や、半導体不足による電子機器の製品供給遅延などマイナス要因が続いておりますが、2023年4月からの医療機関のオンライン資格確認原則義務化など制度変更に関する案件や、ICT機器の投資案件を堅調に受注し、売上は前年を上回りました。利益面につきましては、大型開発案件のスケジュール遅延による計画見直しや物価高による製造原価や販売管理費の増大により減益となりました。

その結果、売上高は15億79百万円（前期比6.4%増）、営業利益は59百万円(同34.5%減)となりました。

## ◇セグメント別の売上状況

| セグメント    | 金額         | 構成比    |
|----------|------------|--------|
| 医薬品卸売事業  | 177,991百万円 | 67.9%  |
| 医療機器卸売事業 | 65,914百万円  | 25.2%  |
| 薬局事業     | 13,468百万円  | 5.1%   |
| 介護事業     | 4,051百万円   | 1.5%   |
| ICT事業    | 487百万円     | 0.2%   |
| その他      | 60百万円      | 0.0%   |
| 合計       | 261,979百万円 | 100.0% |

(注) 相殺消去後の数値を表示しております。

### ③設備投資の状況

当連結会計年度中において実施いたしました企業集団の設備投資の総額は19億55百万円で、その主なものは次のとおりであります。

- ・当連結会計年度中に完成した主要設備  
医薬品卸売事業 基幹システム改修、事業用地取得、支店設備  
介護事業 サ高住新築

### ④資金調達の状況

特に記載する事項はありません。

## (2) 企業集団の財産および損益の状況

| 区 分                       | 2019年度<br>第14期 | 2020年度<br>第15期 | 2021年度<br>第16期 | 2022年度<br>第17期 |
|---------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 売上高 (百万円)                 | 243,102        | 239,494        | 248,369        | 261,979        |
| 経常利益 (百万円)                | 4,121          | 2,691          | 3,413          | 3,887          |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 (百万円) | 2,043          | 1,492          | 2,804          | 2,729          |
| 1株当たり当期純利益 (円)            | 86.81          | 64.01          | 123.44         | 123.41         |
| 総資産 (百万円)                 | 130,653        | 132,955        | 136,883        | 137,937        |
| 純資産 (百万円)                 | 52,729         | 54,369         | 55,543         | 57,443         |
| 1株当たり純資産額 (円)             | 2,239.80       | 2,346.36       | 2,460.67       | 2,614.23       |

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式の総数により、また、1株当たり純資産額は期末発行済株式の総数により算出しております。

### (3) 重要な親会社および子会社の状況

#### ①親会社の状況

該当事項はありません。

#### ②重要な子会社の状況

| 会社名        | 資本金      | 当社の出資比率 | 主要な事業内容                           |
|------------|----------|---------|-----------------------------------|
| 株式会社ほくやく   | 4,964百万円 | 100%    | 医療用医薬品・一般用医薬品卸売<br>医療用機器等卸売       |
| 株式会社竹山     | 100百万円   | 100%    | 医療機器・医療材料卸売                       |
| 株式会社そえる    | 100百万円   | 100%    | 調剤薬局                              |
| 株式会社アドウィック | 60百万円    | 100%    | コンピュータ・ソフトウェアの開発・販売および<br>計算業務の受託 |

(注) 1. 当事業年度の末日における特定完全子会社の状況は次のとおりであります。

|                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 特定完全子会社の名称                       | 株式会社ほくやく              |
| 特定完全子会社の住所                       | 北海道札幌市中央区北6条西16丁目1番地5 |
| 当社および当社の完全子会社における特定完全子会社の株式の帳簿価額 | 25,148百万円             |
| 当社の総資産額                          | 44,386百万円             |

2. 当社の連結子会社でありました北日本調剤株式会社、株式会社メイプルファーマシーおよび株式会社カエデにつきましては、2022年10月1日に同じく当社の連結子会社である株式会社パルス（同日、株式会社そえるへ社名変更）と合併いたしました。

#### (4) 企業集団が対処すべき課題

新型コロナウイルス感染症の世界的な急増と国内においても感染が続く中、当社グループにおいても感染予防と事業継続を目的に社内体制を整え企業活動を継続し感染予防に最大限努める必要があります。

また、社会保障の制度改革や北海道地域医療構想を進める中で、当社グループが総合ヘルスケア企業として各地域で思い描く地域包括ケアシステムでは、誰もが住み慣れた地域において安心して暮らし続けられる仕組みづくりに対応するために各事業の機能強化に加え、各地域の価値観を共有し地域医療連携と地域において当社グループの協業シナジーを核に、B to BとB to C事業モデルの開発・展開を具体化する必要があります。さらに地域のコミュニケーションを強化し、ワンストップサービスと総合ヘルスケア企業としてシームレスな医療と介護と福祉の提供体制の確立が必要となります。新しい働き方改革の定着や新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえた対応を推進いたします。自然災害や疫病など企業活動に予測しえない様々な危機が起こりますことから引き続きBCP（事業継続計画）対策とITサービスの組み合わせの構築が課題となります。

#### (5) 主要な事業内容（2023年3月31日現在）

| 事業区分     | 事業内容                          |
|----------|-------------------------------|
| 医薬品卸売事業  | 医療用医薬品・一般用医薬品の卸売              |
| 医療機器卸売事業 | 医療機器・医療材料の卸売                  |
| 薬局事業     | 調剤薬局                          |
| 介護事業     | 介護用品等のレンタル・販売、介護・福祉コンサルティング   |
| ICT事業    | コンピュータ・ソフトウェアの開発・販売および計算業務の受託 |
| その他      | 保険代理店、SPD（院内物流）、新規開業支援        |

(6) 主要な営業所（2023年3月31日現在）

|                     |     |                     |
|---------------------|-----|---------------------|
| 株式会社ほくやく・竹山ホールディングス | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
| 株 式 会 社 ほ く や く     | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
|                     | 支 店 | 札幌、旭川、函館、北見、帯広、釧路など |
| 株 式 会 社 竹 山         | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
|                     | 支 店 | 札幌、旭川、函館、釧路、北見、東京など |
| 株 式 会 社 そ え る       | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
|                     | 店 舗 | パルス薬局、手稲店、めぐみの店など   |
| 株式会社アドウィック          | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
| 株式会社マルベリー           | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
| 株式会社北海道医療情報サービス     | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
| 株式会社三興保険サービス        | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
| 株式会社テスコ             | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
| 株式会社モルス             | 本 社 | 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  |
| 株式会社クレインファーマシー      | 本 社 | 釧路郡釧路町曙1丁目1番28号     |
| 有限会社羽幌調剤センター        | 本 社 | 苫前郡羽幌町栄町103-47      |
| 株式会社村井薬局            | 本 社 | 雨竜郡沼田町南1条2丁目6番2号    |
| 有 限 会 社 タ カ ダ 薬 局   | 本 社 | 苫小牧市光洋町1丁目16番13号    |
|                     | 店 舗 | 光洋店、宮前店             |
| 有限会社久山薬局            | 本 社 | 網走郡美幌町字大通北3丁目12番地   |
| 株式会社ノバメディカル         | 本 社 | 札幌市東区北45条東9丁目2番7号   |

(注) 当社の連結子会社でありました北日本調剤株式会社、株式会社メイプルファーマシーおよび株式会社カエデにつきましては、2022年10月1日に同じく当社の連結子会社である株式会社パルス（同日、株式会社そえるへ社名変更）と合併いたしました。

## (7) 従業員の状況 (2023年3月31日現在)

### ①企業集団の従業員の状況

| 事業区分     | 従業員数             | 前連結会計年度末比増減 |
|----------|------------------|-------------|
| 医薬品卸売事業  | 479名 ( 655名)     | 9名減 ( 4名減 ) |
| 医療機器卸売事業 | 409名 ( 99名)      | － ( 3名減 )   |
| 薬局事業     | 331名 ( 123名)     | 8名増 ( 1名増 ) |
| 介護事業     | 255名 ( 187名)     | 1名増 ( 8名増 ) |
| I C T事業  | 76名 ( 7名)        | － ( ー )     |
| その他      | 76名 ( 39名)       | 1名増 ( 2名減 ) |
| 合計       | 1,626名 ( 1,110名) | 1名増 ( ー )   |

(注) 従業員数は就業人員であり、パートおよび嘱託は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

### ②当社の従業員の状況

| 従業員数      | 前期末比増減  | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|-----------|---------|-------|--------|
| 63名 (28名) | 1名増 (ー) | 44.4歳 | 15.7年  |

(注) 従業員数は就業人員であり、パートおよび嘱託は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況 (2023年3月31日現在)

- ①発行可能株式総数 100,000,000株
- ②発行済株式の総数 普通株式 24,400,000株
- ③株主数 1,068名
- ④大株主 (上位10名)

| 株 主 名                 | 持 株 数   | 持 株 比 率 |
|-----------------------|---------|---------|
| 有 限 会 社 い つ わ 企 画     | 2,678千株 | 12.19%  |
| 有 限 会 社 タ ス ク 企 画     | 1,408   | 6.41    |
| 株 式 会 社 ア ス テ ム       | 1,297   | 5.91    |
| 田 辺 三 菱 製 薬 株 式 会 社   | 1,176   | 5.36    |
| 株 式 会 社 北 海 道 銀 行     | 896     | 4.08    |
| 株 式 会 社 北 洋 銀 行       | 808     | 3.68    |
| ほ く た け 従 業 員 持 株 会   | 597     | 2.72    |
| エ ー ザ イ 株 式 会 社       | 546     | 2.49    |
| 住 友 フ ァ ー マ 株 式 会 社   | 468     | 2.13    |
| 株 式 会 社 バ イ タ ル ネ ッ ト | 457     | 2.08    |

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## (2) 会社役員 の 状 況 (2023年 3月31日現在)

### ①取締役および監査役の状況

| 会社における地位      | 氏 名       | 担 当 お よ び 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                          |
|---------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 代 表 取 締 役 会 長 | 眞 鍋 雅 昭   | (株)ほくやく代表取締役会長                                                                     |
| 代 表 取 締 役 社 長 | 眞 鍋 雅 信   | (株)ほくやく代表取締役社長 (株)竹山取締役会長 (株)葦の会代表取締役社長                                            |
| 取 締 役         | 黒 田 啓 文   | —                                                                                  |
| 取 締 役         | 竹 山 茂 樹   | 常務執行役員 (ICT事業管掌) (株)竹山代表取締役 (株)アドウィック代表取締役社長                                       |
| 取 締 役         | 小 林 隆 聖   | 常務執行役員 (経営戦略担当) (株)モルス代表取締役社長                                                      |
| 取 締 役         | 鈴 木 賢     | (株)バイタルケーエスケー・ホールディングス取締役会長<br>(株)バイタルネット代表取締役会長                                   |
| 取 締 役         | 吉 村 恭 彰   | (株)フォレストホールディングス代表取締役社長 (株)アステム代表取締役会長 (株)リードヘルスケア代表取締役会長<br>(株)葦の会取締役会長           |
| 常 勤 監 査 役     | 古 井 新 悦   | (株)ほくやく監査役 (株)竹山監査役                                                                |
| 常 勤 監 査 役     | 青 柳 登 志 徳 | —                                                                                  |
| 監 査 役         | 坪 沼 一 成   | 坪沼公認会計士事務所 男山(株)監査役 東邦電設(株)監査役<br>丸果旭川青果卸売市場(株)監査役 旭川ケーブルテレビ(株)監査役                 |
| 監 査 役         | 小 寺 正 史   | 弁護士法人小寺・松田法律事務所 (公財)札幌交響楽団監事 (福)悠生会理事 (社)北海道建築士事務所協会監事<br>(公財)PMF組織委員会理事 (学)北海学園理事 |
| 監 査 役         | 横 内 龍 三   | ウェルネット(株)社外取締役(監査等委員) 北海道川崎建機(株)特別顧問                                               |

- (注) 1. 取締役鈴木 賢および取締役吉村恭彰の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役坪沼一成、監査役小寺正史および監査役横内龍三の各氏は、社外監査役であります。
3. 監査役坪沼一成、監査役小寺正史および監査役横内龍三の各氏は、以下のとおり財務および会計ならびに企業法務に関する相当程度の知見を有しております。
- ・ 監査役坪沼一成氏は、公認会計士・税理士の資格を有しております。
  - ・ 監査役小寺正史氏は、弁護士の資格を有しております。
  - ・ 監査役横内龍三氏は、金融機関での長年の経験および弁護士の資格を有しております。
4. 当社は、取締役鈴木賢氏、取締役吉村恭彰氏、監査役坪沼一成氏、監査役小寺正史氏および監査役横内龍三氏を札幌証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## ②執行役員の状況

当社は執行役員制度を導入しております。取締役兼務者を除く2023年3月31日現在の執行役員は以下のとおりであります。

| 会社における地位 | 氏名   | 担当および重要な兼職の状況                                |
|----------|------|----------------------------------------------|
| 専務執行役員   | 眞鍋知広 | 医薬品卸売事業管掌 (株)ほくやく取締役専務執行役員 (統括営業本部長兼医薬営業本部長) |
| 専務執行役員   | 土田拓也 | 医療機器卸売事業管掌 (株)竹山代表取締役社長                      |
| 専務執行役員   | 巖友弘  | オペレーション本部長 (財務担当)                            |
| 常務執行役員   | 高橋和則 | 介護事業管掌兼エリアサミット担当 (株)マルベリー代表取締役社長             |
| 常務執行役員   | 笠井幸芳 | 経営統括本部長                                      |
| 常務執行役員   | 宮崎敦  | 薬局事業管掌兼薬局事業統括本部長 (株)そえる代表取締役社長               |
| 執行役員     | 尾池一聡 | オペレーション本部副本部長兼人事部長 (人事統括)                    |
| 執行役員     | 菊地正則 | 医療情報サービス担当 (株)北海道医療情報サービス代表取締役社長             |
| 執行役員     | 樋栄邦直 | 経営企画部長                                       |
| 執行役員     | 宮口佳三 | 経理部長                                         |
| 執行役員     | 青山周平 | IT戦略室長                                       |
| 執行役員     | 林克徳  | リスク管理部長                                      |
| 執行役員     | 親松和史 | オペレーション本部副本部長 (管理統括)                         |
| 執行役員     | 菊池邦夫 | 経営統括本部副本部長                                   |

### ③取締役及び監査役の報酬等

#### イ. 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区 分                 | 報酬等の総額<br>(百万円) | 報酬等の種類別の総額<br>(百万円) |        | 対象となる<br>役員の員数<br>(名) |
|---------------------|-----------------|---------------------|--------|-----------------------|
|                     |                 | 固定報酬                | 業績連動報酬 |                       |
| 取 締 役<br>(社外取締役を除く) | 90              | 58                  | 32     | 5                     |
| 監 査 役<br>(社外監査役を除く) | 18              | 18                  | —      | 2                     |
| 社 外 取 締 役           | 7               | 7                   | —      | 2                     |
| 社 外 監 査 役           | 14              | 14                  | —      | 3                     |
| 合 計                 | 130             | 98                  | 32     | 12                    |

- (注) 1. 当事業年度末現在の人員は、取締役7名、監査役5名であります。  
 2. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。  
 3. 支給額には、以下のものも含まれております。  
 当事業年度における役員賞与引当金の繰入額32百万円（繰入額32百万円は取締役5名に対して）

#### ロ. 業績連動報酬等に関する事項

社外取締役を除く取締役については、次により業績連動報酬を支給する。

##### (1) 業績連動報酬の決定基準

取締役の業績連動報酬額（取締役賞与）の決定にあたっては、「経常利益」実績を基準とする。利益体系においては、本業での利益を示す営業利益のほかに手数料等の営業外収益においても重要な利益要素を占めていることから、それらを含めた経常利益を当社の重要な指標とする。

##### (2) 業績連動報酬の決定方法

取締役の業績連動報酬額（取締役賞与）については、年間の経常利益の実績をもとに、「経常利益計画達成率基準」および「経常利益率基準」の二つの要素を評価要素とする。評価にあたっては、あらかじめ決定された取締役個人別の基本額に、上記二つの基準テーブルの率を乗じて算出した額を基準として、社外取締役、監査役の意見を参考として代表取締役が支給額を決定する。

なお、当事業年度における取締役の業績連動報酬部分に係る指標の計画と実績は以下のとおりです。

a. 経常利益計画達成率基準

|    | 計画（百万円） | 実績（百万円） | 達成率（％） |
|----|---------|---------|--------|
| 上期 | 1,600   | 1,716   | 107.3  |
| 下期 | 1,550   | 2,171   | 140.1  |
| 平均 | —       | —       | 123.7  |

※経常利益計画を達成した場合であっても、前年比減益の場合は原則として達成率を100%とする。

b. 経常利益率基準

1.20%

ハ. 取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

2006年6月28日開催の株式会社ほくやく第57回定時株主総会により、取締役の報酬限度額は年額5億円以内、監査役の報酬限度額は年額1億円以内と決議いただいております。

当該株主総会終結時点の取締役の員数は15名、監査役の員数は5名です。

ニ. 取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針

1. 取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針の決定方法

当社は、2021年3月22日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針を決議しております。また、取締役会は、当事業年度に係る取締役の個人別の報酬について、報酬の内容の決定方法および決定された報酬の内容が当該決定方針と整合していることを確認しており、相当であると判断しております。

## 2. 決定方針の内容の概要

### a. 報酬等の額または算定方法の決定方針

取締役報酬については、株主総会で決議された報酬総額の限度内において、人事部長からの基本データ（環境、過去の実績など）を基に、代表取締役が、取締役の役位、職責、期待度、在任年数、子会社役員とのバランスを考慮したうえで、社外取締役、監査役の意見を参考として支給額を決定する。

また、社外取締役を除く取締役の報酬は、定額報酬部分（月額固定部分）と業績連動報酬部分（取締役賞与）に分けており、その割合については役位、職責などに応じた監督責任割合を重視したうえで、社外取締役、監査役の意見を参考として、代表取締役が決定する。

b. 業績連動報酬等の額または算定方法の決定方針については、「ロ. 業績連動報酬等に関する事項」に記載の通りです。

### c. 報酬を与える時期または条件の決定方針

定額報酬は、月例の固定金銭報酬とする。

業績連動報酬である賞与は、事業年度終了後3か月以内に年1回支給する。

## ホ. 取締役の個人別の報酬等の決定に係る委任に関する事項

当社の年額の役員報酬は、取締役および執行役員の報酬総額を取締役会で承認し、役員個人別支給額については代表取締役社長 眞鍋雅信に一任しております。

代表取締役社長に委任をした理由は、当社全体の業績を俯瞰しつつ取締役および執行役員の担当領域や職責の評価を行うには代表取締役社長が適していると判断したためであります。

#### ④社外役員に関する事項

##### イ. 社外取締役の兼職の状況（他の法人等の業務執行者または社外役員である場合）

| 氏名   | 兼職先および兼職内容                                                                         |
|------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 鈴木賢  | (株)バイタルケーエスケー・ホールディングス 取締役会長<br>(株)バイタルネット 代表取締役会長                                 |
| 吉村恭彰 | (株)フォレストホールディングス 代表取締役社長<br>(株)アステム 代表取締役会長<br>(株)リードヘルスケア 代表取締役会長<br>(株)葦の会 取締役会長 |

- (注) 1. 取締役鈴木賢氏は、(株)バイタルケーエスケー・ホールディングスの取締役会長を兼務しておりますが、同社は当社との間に重要な取引関係はありません。また、(株)バイタルネットの代表取締役会長を兼任しておりますが、同社は当社との間に商品の取引関係があります。
2. 取締役吉村恭彰氏は、(株)フォレストホールディングスの代表取締役社長 (株)リードヘルスケア代表取締役会長 (株)葦の会取締役会長を兼務しておりますが、兼職先である法人と当社との間に重要な取引関係はありません。また、(株)アステムの代表取締役会長を兼任しておりますが、同社は当社との間で取引関係があります。

##### ロ. 社外監査役の兼職の状況（他の法人等の業務執行者または社外役員である場合）

| 氏名   | 兼職先および兼職内容                                                                         |
|------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 坪沼一成 | 坪沼公認会計士事務所 男山(株)監査役 東邦電設(株)監査役<br>丸果旭川青果卸売市場(株)監査役 旭川ケーブルテレビ(株)監査役                 |
| 小寺正史 | 弁護士法人小寺・松田法律事務所 (公財)札幌交響楽団監事 (福)悠生会理事<br>(社)北海道建築士事務所協会監事 (公財)PMF組織委員会理事 (学)北海学園理事 |
| 横内龍三 | ウェルネット(株)社外取締役(監査等委員) 北海道川崎建機(株)特別顧問                                               |

- (注) 社外監査役の重要な兼職の状況については上表に記載のとおりであります。なお、兼職先である法人等と当社との間に特別な関係はありません。

## ハ. 当事業年度における社外役員の子な活動状況

| 氏名    | 会社役員<br>の地位 | 出席状況、発言状況及び期待される役割に関して行った職務の概要                                                                     |
|-------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 鈴木 賢  | 取締役         | 当期開催の取締役会 17回のうち 16回に出席し、主に同業界からの意見や同業他社会長としての見地からの経営の監督・助言・提言を行っており、社外取締役に求められる役割・責務を十分に発揮しております。 |
| 吉村 恭彰 | 取締役         | 当期開催の取締役会 17回のうち 16回に出席し、主に同業界からの意見や同業他社会長としての見地からの経営の監督・助言・提言を行っており、社外取締役に求められる役割・責務を十分に発揮しております。 |

| 氏名    | 会社役員<br>の地位 | 出席状況及び発言状況                                                                           |
|-------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 坪沼 一成 | 監査役         | 当期開催の取締役会 17回すべてに出席し、また、監査役会 13回にもすべて出席し、公認会計士・税理士としての専門的見地から議案審議等に必要な発言・提言を行っております。 |
| 小寺 正史 | 監査役         | 当期開催の取締役会 17回すべてに出席し、また、監査役会 13回にもすべて出席し、弁護士としての専門的見地から議案審議等に必要な発言・提言を行っております。       |
| 横内 龍三 | 監査役         | 当期開催の取締役会 17回すべてに出席し、また、監査役会 13回にもすべて出席し、金融機関での長年の経験から議案審議等に必要な発言・提言を行っております。        |

#### ⑤責任限定契約の内容の概要

当社と各社外取締役および各社外監査役は、社外役員として有用な人材を迎えることができるよう、現行定款において、当社への損害賠償を一定の範囲に限定する契約を締結できる旨を定めております。これに基づき、社外取締役である鈴木賢、吉村恭彰の両氏および社外監査役である坪沼一成、小寺正史および横内龍三の各氏は、当社との間で、当該責任限定契約を締結しております。

その契約内容の概要は次のとおりであります。

- ・社外取締役および社外監査役が任務を怠ったことによって当社に損害賠償責任を負う場合は、会社法第425条第1項に規定する最低責任限度額を限度として、その責任を負う。
- ・上記の責任限定が認められるのは、当該社外取締役および社外監査役が責任の原因となった職務の遂行について善意かつ重大な過失がないときに限るものとする。

#### ⑥役員等賠償責任保険契約の内容の概要等

当社は、当社および子会社の取締役および監査役、ならびに執行役員全員を被保険者とする会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しており、被保険者は保険料を負担しておりません。

当該保険契約では、被保険者が会社の役員等の地位に基づき行った行為（不作為を含みます）に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や訴訟費用等が補填されることとなります。

### (3) 会計監査人の状況

①名称 EY新日本有限責任監査法人

②会計監査人の報酬等および監査役会が同意した理由  
イ.報酬等の額

|                                      | 支 払 額 |
|--------------------------------------|-------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                  | 32百万円 |
| 当社および子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 43百万円 |

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

ロ.会計監査人の報酬等について監査役会が同意した理由

当監査役会は、取締役、社内関係部署および会計監査人から必要な資料の入手や報告の聴取を通じて、会計監査人の監査計画の内容、従前の事業年度における職務執行状況や報酬見積りの算出根拠等を検討した結果、会計監査人の報酬等の額について、会社法第399条第1項の同意を行っております。

③会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合など、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1号各号に定める項目に該当すると認められる場合は、当該会計監査人の解任を検討し、解任が妥当と認められる場合には監査役全員の同意に基づき、監査役会として会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

**(4) 企業集団の業務の適正を確保するための体制**

法令および当社定款第15条の規定に基づき、当社ウェブサイト（アドレス <https://www.hokutake.co.jp/>）に掲載しております。

**(5) 内部統制システムの運用状況の概要**

法令および当社定款第15条の規定に基づき、当社ウェブサイト（アドレス <https://www.hokutake.co.jp/>）に掲載しております。

**(6) 会社の支配に関する基本方針**

法令および当社定款第15条の規定に基づき、当社ウェブサイト（アドレス <https://www.hokutake.co.jp/>）に掲載しております。

**(7) 剰余金の配当等の決定に関する基本方針**

法令および当社定款第15条の規定に基づき、当社ウェブサイト（アドレス <https://www.hokutake.co.jp/>）に掲載しております。

## 連結貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部            |                | 負 債 の 部                |                |
|--------------------|----------------|------------------------|----------------|
| 科 目                | 金 額            | 科 目                    | 金 額            |
| <b>流 動 資 産</b>     | <b>98,305</b>  | <b>流 動 負 債</b>         | <b>77,584</b>  |
| 現金及び預金             | 18,022         | 支払手形及び買掛金              | 70,915         |
| 受取手形及び売掛金          | 54,990         | 電子記録債務                 | 2,505          |
| 商品及び製品             | 17,390         | 一年内返済予定長期借入金           | 1              |
| その他                | 7,914          | 未払法人税等                 | 693            |
| 貸倒引当金              | △12            | 賞与引当金                  | 982            |
|                    |                | 役員賞与引当金                | 138            |
|                    |                | その他                    | 2,347          |
| <b>固 定 資 産</b>     | <b>39,631</b>  | <b>固 定 負 債</b>         | <b>2,910</b>   |
| <b>有 形 固 定 資 産</b> | <b>21,118</b>  | 長期借入金                  | 14             |
| 建物及び構築物            | 9,832          | 繰延税金負債                 | 1,457          |
| 土地                 | 9,914          | 再評価に係る繰延税金負債           | 120            |
| リース資産              | 243            | 退職給付に係る負債              | 350            |
| その他                | 1,128          | 長期未払金                  | 396            |
| <b>無 形 固 定 資 産</b> | <b>1,764</b>   | 資産除去債務                 | 337            |
| のれん                | 960            | その他                    | 232            |
| ソフトウェア             | 457            | <b>負 債 合 計</b>         | <b>80,494</b>  |
| その他                | 346            | <b>純 資 産 の 部</b>       |                |
| <b>投資その他の資産</b>    | <b>16,748</b>  | <b>株 主 資 本</b>         | <b>52,428</b>  |
| 投資有価証券             | 14,106         | 資本金                    | 1,000          |
| 関係会社株式             | 1,231          | 資本剰余金                  | 11,821         |
| 長期売掛金              | 94             | 利益剰余金                  | 41,315         |
| 長期貸付金              | 311            | 自己株式                   | △1,709         |
| 繰延税金資産             | 347            | <b>その他の包括利益累計額</b>     | <b>5,001</b>   |
| 退職給付に係る資産          | 0              | その他有価証券評価差額金           | 5,839          |
| その他                | 760            | 土地再評価差額金               | △742           |
| 貸倒引当金              | △104           | 退職給付に係る調整累計額           | △95            |
| <b>資 産 合 計</b>     | <b>137,937</b> | <b>非 支 配 株 主 持 分</b>   | <b>13</b>      |
|                    |                | <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>57,443</b>  |
|                    |                | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>137,937</b> |

## 連結損益計算書

(2022年4月1日から  
2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目                    | 金     | 額             |
|------------------------|-------|---------------|
| 売上高                    |       | 261,979       |
| 売上原価                   |       | 242,020       |
| <b>売上総利益</b>           |       | <b>19,959</b> |
| 販売費及び一般管理費             |       | 17,330        |
| <b>営業利益</b>            |       | <b>2,628</b>  |
| 営業外収益                  |       |               |
| 受取利息                   | 4     |               |
| 受取配当金                  | 288   |               |
| 受取事務手数料                | 574   |               |
| 不動産賃貸収入                | 145   |               |
| 持分法による投資利益             | 114   |               |
| その他                    | 285   | 1,412         |
| 営業外費用                  |       |               |
| 不動産賃貸原価                | 121   |               |
| 遊休資産諸費用                | 16    |               |
| その他                    | 15    | 153           |
| <b>経常利益</b>            |       | <b>3,887</b>  |
| 特別利益                   |       |               |
| 固定資産売却益                | 0     |               |
| 投資有価証券売却益              | 408   | 408           |
| 特別損失                   |       |               |
| 固定資産売却損                | 0     |               |
| 固定資産除却損                | 7     |               |
| 投資有価証券売却損              | 22    |               |
| 減損損失                   | 36    | 66            |
| <b>税金等調整前当期純利益</b>     |       | <b>4,229</b>  |
| 法人税、住民税及び事業税           | 1,293 |               |
| 法人税等調整額                | 204   | 1,498         |
| <b>当期純利益</b>           |       | <b>2,731</b>  |
| 非支配株主に帰属する当期純利益        |       | 1             |
| <b>親会社株主に帰属する当期純利益</b> |       | <b>2,729</b>  |

## 連結株主資本等変動計算書

(2022年4月1日から  
2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

|                           | 株 主 資 本 |        |        |         |        |
|---------------------------|---------|--------|--------|---------|--------|
|                           | 資 本 金   | 資本剰余金  | 利益剰余金  | 自 己 株 式 | 株主資本合計 |
| 2022年4月1日 期首残高            | 1,000   | 11,821 | 38,965 | △1,325  | 50,461 |
| 連結会計年度中の変動額               |         |        |        |         |        |
| 剰余金の配当                    |         |        | △379   |         | △379   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益           |         |        | 2,729  |         | 2,729  |
| 自己株式の取得                   |         |        |        | △383    | △383   |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) |         |        |        |         | -      |
| 連結会計年度中の変動額合計             | -       | -      | 2,350  | △383    | 1,966  |
| 2023年3月31日 期末残高           | 1,000   | 11,821 | 41,315 | △1,709  | 52,428 |

|                           | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 |                |                  |                   | 非支配株主持分 | 純資産合計  |
|---------------------------|-----------------------|----------------|------------------|-------------------|---------|--------|
|                           | その他有価証券<br>評価差額金      | 土地再評価<br>差 額 金 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括<br>利益累計額合計 |         |        |
| 2022年4月1日 期首残高            | 5,909                 | △742           | △96              | 5,070             | 11      | 55,543 |
| 連結会計年度中の変動額               |                       |                |                  |                   |         |        |
| 剰余金の配当                    |                       |                |                  | -                 |         | △379   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益           |                       |                |                  | -                 |         | 2,729  |
| 自己株式の取得                   |                       |                |                  | -                 |         | △383   |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | △69                   |                | 1                | △68               | 1       | △66    |
| 連結会計年度中の変動額合計             | △69                   | -              | 1                | △68               | 1       | 1,899  |
| 2023年3月31日 期末残高           | 5,839                 | △742           | △95              | 5,001             | 13      | 57,443 |

## 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部                |               | 負 債 の 部                |               |
|------------------------|---------------|------------------------|---------------|
| 科 目                    | 金 額           | 科 目                    | 金 額           |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>2,639</b>  | <b>流 動 負 債</b>         | <b>216</b>    |
| 現金及び預金                 | 2,108         | 未払金                    | 36            |
| 未収法人税等                 | 221           | 未払費用                   | 20            |
| 短期貸付金                  | 288           | 未払法人税等                 | 14            |
| その他                    | 25            | 賞与引当金                  | 50            |
| 貸倒引当金                  | △4            | 役員賞与引当金                | 55            |
|                        |               | その他                    | 40            |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>41,746</b> | <b>固 定 負 債</b>         | <b>1,219</b>  |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>     | <b>775</b>    | 繰延税金負債                 | 1,169         |
| 建物及び構築物                | 27            | 退職給付引当金                | 16            |
| 土地                     | 722           | 長期未払金                  | 14            |
| その他                    | 25            | その他                    | 20            |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>     | <b>60</b>     | <b>負 債 合 計</b>         | <b>1,436</b>  |
| その他                    | 60            | <b>純 資 産 の 部</b>       |               |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>40,910</b> | <b>株 主 資 本</b>         | <b>40,234</b> |
| 投資有価証券                 | 5,305         | 資 本 金                  | 1,000         |
| 関係会社株式                 | 32,744        | 資 本 剰 余 金              | 32,975        |
| 長期貸付金                  | 3,007         | 資 本 準 備 金              | 1,000         |
| その他                    | 1             | その他資本剰余金               | 31,975        |
| 貸倒引当金                  | △147          | <b>利 益 剰 余 金</b>       | <b>7,967</b>  |
|                        |               | その他利益剰余金               | 7,967         |
|                        |               | 繰越利益剰余金                | 7,967         |
|                        |               | <b>自 己 株 式</b>         | <b>△1,709</b> |
|                        |               | 評 価 ・ 換 算 差 額 等        | 2,715         |
|                        |               | その他有価証券評価差額金           | 2,715         |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>44,386</b> | <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>42,949</b> |
|                        |               | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>44,386</b> |

## 損益計算書

(2022年4月1日から  
2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目          | 金   | 額            |
|--------------|-----|--------------|
| 売上高          |     | 1,927        |
| 売上総利益        |     | <b>1,927</b> |
| 販売費及び一般管理費   |     | 1,215        |
| 営業利益         |     | <b>712</b>   |
| 営業外収益        |     |              |
| 貸倒引当金戻入額     | 3   |              |
| その他の         | 145 | 148          |
| 営業外費用        |     | <b>62</b>    |
| 経常利益         |     | <b>799</b>   |
| 特別利益         |     |              |
| 投資有価証券売却益    | 389 | 389          |
| 特別損失         |     |              |
| 固定資産除却損      | 0   | 0            |
| 税引前当期純利益     |     | <b>1,188</b> |
| 法人税、住民税及び事業税 | 30  | 30           |
| 当期純利益        |     | <b>1,157</b> |

## 株主資本等変動計算書

(2022年4月1日から  
2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

|                                          | 株 主 資 本 |           |                |              |                                        |        |            |
|------------------------------------------|---------|-----------|----------------|--------------|----------------------------------------|--------|------------|
|                                          | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |                |              | 利益剰余金                                  | 自己株式   | 株主資本計<br>合 |
|                                          |         | 資本準備金     | そ の 他<br>資本剰余金 | 資本剰余金<br>合 計 | そ の 他 利 益<br>剰 余 金<br>繰 越 利 益<br>剰 余 金 |        |            |
| 2022年4月1日 期首残高                           | 1,000   | 1,000     | 31,975         | 32,975       | 7,188                                  | △1,325 | 39,839     |
| 当 事 業 年 度 中 の 変 動 額                      |         |           |                |              |                                        |        |            |
| 剰 余 金 の 配 当                              |         |           |                | －            | △379                                   |        | △379       |
| 当 期 純 利 益                                |         |           |                | －            | 1,157                                  |        | 1,157      |
| 自 己 株 式 の 取 得                            |         |           |                | －            |                                        | △383   | △383       |
| 株 主 資 本 以 外 の<br>項 目 の 当 期 変 動 額 ( 純 額 ) |         |           |                | －            |                                        |        | －          |
| 当 事 業 年 度 中 の 変 動 額 合 計                  | －       | －         | －              | －            | 778                                    | △383   | 394        |
| 2023年3月31日 期末残高                          | 1,000   | 1,000     | 31,975         | 32,975       | 7,967                                  | △1,709 | 40,234     |

|                                          | 評 価 ・ 換 算 差 額 等            |                        | 純 資 産 合 計 |
|------------------------------------------|----------------------------|------------------------|-----------|
|                                          | そ の 他 有 価 証 券<br>評 価 差 額 金 | 評 価 ・ 換 算<br>差 額 等 合 計 |           |
| 2022年4月1日 期首残高                           | 3,052                      | 3,052                  | 42,891    |
| 当 事 業 年 度 中 の 変 動 額                      |                            |                        |           |
| 剰 余 金 の 配 当                              |                            | －                      | △379      |
| 当 期 純 利 益                                |                            | －                      | 1,157     |
| 自 己 株 式 の 取 得                            |                            | －                      | △383      |
| 株 主 資 本 以 外 の<br>項 目 の 当 期 変 動 額 ( 純 額 ) | △336                       | △336                   | △336      |
| 当 事 業 年 度 中 の 変 動 額 合 計                  | △336                       | △336                   | 58        |
| 2023年3月31日 期末残高                          | 2,715                      | 2,715                  | 42,949    |

# 連結計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2023年5月28日

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス  
取締役会 御中

### EY新日本有限責任監査法人 札幌事務所

|                    |       |         |
|--------------------|-------|---------|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 大 黒 英 史 |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 萩 原 靖 之 |

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社ほくやく・竹山ホールディングスの2022年4月1日から2023年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ほくやく・竹山ホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

・連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

・経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

・連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

・連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

## 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2023年5月28日

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス  
取締役会 御中

### EY新日本有限責任監査法人 札幌事務所

|                    |       |         |
|--------------------|-------|---------|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 大 黒 英 史 |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 萩 原 靖 之 |

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ほくやく・竹山ホールディングスの2022年4月1日から2023年3月31日までの第17期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

・計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

・経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

・計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第17期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の結果、監査役全員の一致した意見として本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号イの基本方針及び同号ロの各取組みについては、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
  - ④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- ④ 事業報告に記載されている会社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針については、指摘すべき事項は認められません。事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号口の各取組みは、当該基本方針に沿ったものであり、当社の株主共同の利益を損なうものではなく、かつ、当社の会社社役員の地位の維持を目的とするものではないと認めます。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人EY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2023年5月29日

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス 監査役会

常勤監査役 古井新悦 ⑩

常勤監査役 青柳登志徳 ⑩

社外監査役 坪沼一成 ⑩

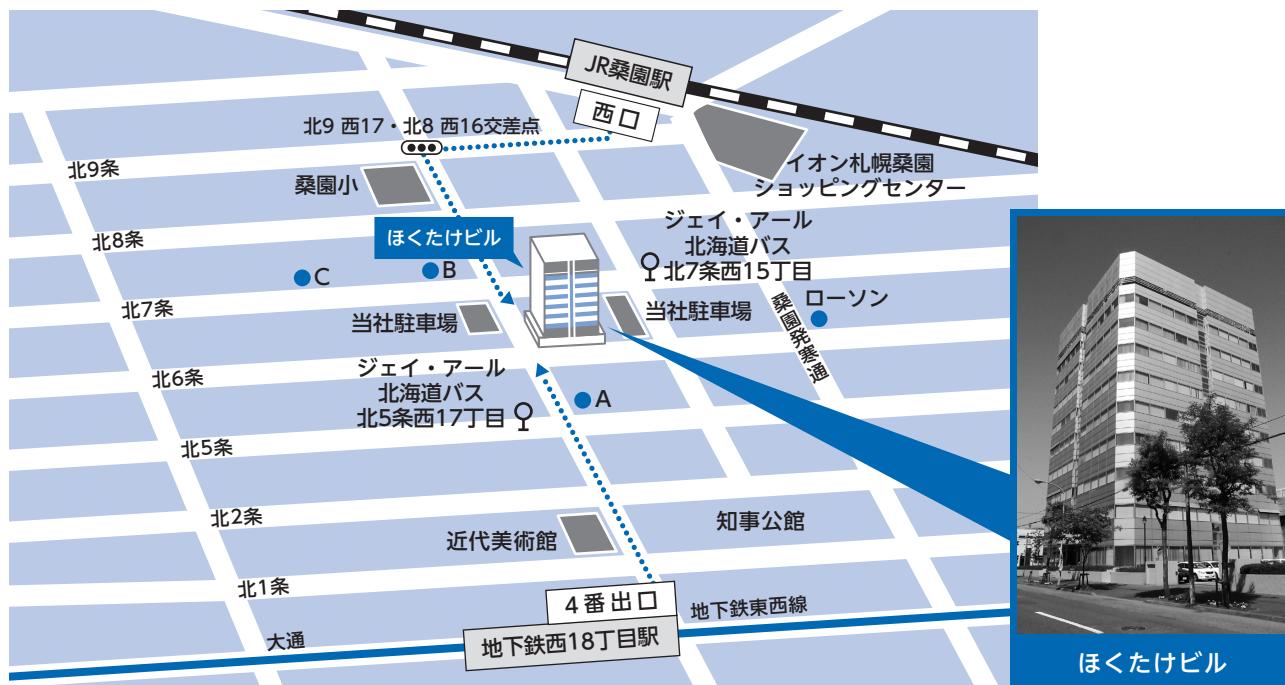
社外監査役 小寺正史 ⑩

社外監査役 横内龍三 ⑩

以上

# 株主総会会場 ご案内図

会場：ほくたけビル 9階 会議室  
札幌市中央区北6条西16丁目1番地5  
TEL：011(633)1030(代)



## [交通のご案内]

- JR桑園駅(西口)より徒歩12分
- ジェイ・アール北海道バス「北5条西17丁目」より徒歩3分
- 地下鉄東西線「西18丁目駅」より徒歩15分
- ジェイ・アール北海道バス「北7条西15丁目」より徒歩1分

(駐車場が手狭なため、公共交通機関をご利用ください。)

※当社駐車場が満車となりご利用できない場合は、下記近隣有料駐車場をご利用下さいますよう、お願いいたします。

## [駐車場のご案内]

- A：札幌市中央区北5条西16丁目2-5スクエア516ビル  
「三井のリパーク札幌北5西16駐車場」
- C：札幌市中央区北7条西17丁目7-4  
「三井のリパーク札幌北7西17駐車場」

- B：札幌市北7条西17丁目  
「システムパーク北7条西17丁目第19駐車場」

UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。